

## 8-4-37 PM専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) PM 専門委員会の開催

主に建設コンサルタントがインフラ整備事業に関する PM/CM 関連業務へ参画し、業容の拡大を図ることを目的として、令和 2 年度の専門委員会を 11 回開催した。

#### (2) 令和 2 年度マネジメントセミナーへの参画

マネジメントシステム委員会傘下の専門委員会として参画した。

##### a) セミナーの概要

- ・開催日：令和 2 年 9 月 3 日～5 日
- ・場所：オンラインセミナー
- ・聴講者数：1,697 名

##### b) PM 専門委員会対応個所「CM 方式の更なる活用に向けて」

- ① 発注者支援業務と CM 方式の相違や特徴、CM 方式の課題を受け、今後の建設コンサルタントが目指す CM 方式について説明した。
- ② CM 方式に対する最近の動向について、CM 方式に対する国等の動き、CM 方式・事業促進 PPP 方式の導入状況、CM 方式導入に対する発注者の意識の変化等について解説した。
- ③ 平成 30 年 2 月に改定した「CM 方式活用の手引き（案）」（以下、「手引き」という。）に示している CM 方式の導入時での検討事項や注意事項を解説した。
- ④ CM 方式等の現場でのマネジメント業務の特徴について、震災時、平常時（特殊な技術を活用した事業、技術支援型事業）の 3 事例について発注者支援業務との相違を中心に事例紹介した。

#### (3) 国土交通省 CM 制度検討会への参画

国土交通省土地・建設産業局で検討されている地方公共団体を対象にした「ピュア型 CM ガイドライン（案）」に対し、共通仕様書並びに標準契約約款の作成に携わり、同年 9 月にガイドラインは公開された。また、国が 12 月に実施した CM アンケートに対して支援した。

#### (4) PM セミナーの開催

##### a) セミナーの概要

- ・開催日：令和 2 年 12 月 8 日
- ・場所：FORUM8（渋谷）773 会議室
- ・聴講者数：265 名（web、現地参加の合計）

##### b) 講義内容

- ① CM 方式の定義や特徴等について解説した。
- ② 導入時に注意すべきポイントを解説した。
- ③ 現場におけるマネジメント業務の内容について発注者支援業務との相違点を中心に紹介した。
- ④ 国不動産・建設経済局（林課長補佐）を招いて国が策定したピュア型 CM ガイドライン（案）について講演を頂戴した。

#### (5) PM/CM 講師派遣、発注者との意見交換会

令和 2 年度は、横浜市（7/30、8/27）、兵庫県養父土木事務所（2/17）、都市再生機構（12/25）、JRTT（3/15）と CM 方式や事業促進 PPP 方式に関する事業説明、導入時の留意点等について意見交換を実施した。

#### (6) 事業促進 PPP 方式に対する国との意見交換

- a) 大臣官房技術調査課と事業促進 PPP 方式の運用ガイドラインに対して、事業促進 PPP 方式の事例の分析結果に基づき改定案を提案した。
- b) 関東地方整備局独自の運用改善案に対しての内容について修正提案した。

### 2. 次年度の活動について

- (1) マネジメントセミナー、PM セミナーの開催により、CM 方式に対する技術の習得と CM 方式の導入促進を図る。
- (2) 支部との意見交換結果を反映した地域での普及活動（地域でのセミナー、CM 方式等の仕組みの改善状況等の情報提供等）を展開する。
- (3) CM 方式並びに事業促進 PPP 方式の導入事例をモニタリング・分析・評価して、策定した手引きの更新や国等への要望と提案の基礎資料に活かす。
- (4) 地方公共団体等への PM/CM 講師派遣の継続や土木学会と連携したセミナー開催等を企画し、CM 方式の普及に努める。

（PM 専門委員会委員長 畔柳 耕一）